科目名 Subject	日本語総合O General JapaneseO		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	日本学習の中級段階の基礎ともいえる文法表現、漢字、語彙、正作文などを総合的に学習する。こ日本語総合N、日本語総合O、日本語総合Pは前期の日本語総合E、F、Gの授業を後期に引き継ぎ、同じテキストを使ってとテキスト本文の精読、重要な文型と表現、関連表現、応用練習(話す・書くを学習する。また、パソコンを使い、中級文の入力スキルも身につけることができる。日本語総合Oは日本語総合Nの復習とその発展授業とする。				
授業の目標	中級レベルの学習をテキストを使用しながら授業を行う。内容としては初中級から引き続き高等な書き言葉、改まった日本語表現を6000から8000の修得するができる。また、中級レベルの1000字から1200字文章が書くことができ、読むこともできる。				
時間外学習 （予習・復習）	テキストに出てくる語彙や表現の意味確認などその数も増えるので30分から1時間程度の予習をして授業に参加することを前提とした授業をする。また、将来日本での就職の計画の中に入れ、Ｎ２レベルからN1レベルの学習も視野にいれ復習も必要である				
教科書・教材	教科書	みんなの日本語中級Ｉ　スリーエーネットワーク			
	教材	聴解CD			
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	予習や復習を含めて、授業への参画度にも重点を置き、提出物の完成度など平常点を全体の40%、期末試験を60%で全体を評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	テーマやトピックスにいて、事前情報をきちんと収集してから出席してください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	第８課　重要表現・話す	迷子になった想定で人や人物を詳しく説明することができる。	テキスト８課の新出語彙、表現の意味や語彙を確認し授業中にわからない意味がないようにしておく。復習は音読３回以上
第２回	第８課　聞く・会話・読む	スーパーでの店内放送を聞き取ることができる。読解は科学者について内容読み取りをすることができる	授業の前に店内放送を聞きメモをしておく。会話を中心に予習。復習は読むを自分QAして内容理解を確かめること
第３回	第８課　書く・練習問題	科学技術の発展とわたしたちの生活について800字の作文のチェックとフィードバックすることができる	書くテーマ「科学技術の発展」について熟読をしておく　復習ではフィードバックされたものを声を出して音読する
第４回	第９課　重要表現・話す	買いたい物の条件や希望を説明するの復習　先生のQに正しく答えることができる	新出語彙、表現の意味や語彙を復習し授業中に先生のQに答えることができること。復習はうまくいかなかった点を自分でQAする
第５回	第９聞く・会話・読む	事実を正確に聞きとるの復習。読むでは意見を読み取る意味読みをすることができる	生活に役に立つ発明の例を考えメモしておく。復習では読むのQAを一人で何回もしなめらかに答える練習をする
第６回	第９課　書く・練習問題	「カラオケ」について800字の文章を書くことがフィードバックと間違いに気づくことができる	練習問題の語彙をしっかり調べ問題を完成させる。復習では書いたもののフィードバックを何回もよく読む
第７回	第10課　重要表現・話す	前回の誤解を解や、誤解の原因の復習と発展でしっかりと日本語で説明することができる	10課の重要表現を復習して先生のQの答えることができること。話すでは授業中にやったことを復習すて自然に話す練習とすること
第８回	第10課　聞く・会話・読む	重要表現を基に聞くことができ、会話も自由にすることができる。読むも意味読みをすることができる	読むをよく読んで、先生のQに答えることができること。授業でうまくいかなかった所を何回も練習しておく
第９回	第10課　書く・練習問題	人の性格の「記憶型」と「注意型」の比較文章のフィードバック。自分の意見を発表することができる	性格の記憶型か注意型を復習しフィードバックされた文章を3回以上読でおく。復習では発表した文章を3回以上読む
第１０回	第11課　重要表現・話す	重要表現の復習では意味を説明をすることができる。自由に提案と提案の受け入れをすることができる	上手な提案のポイントを確認し例とあげて声を出して練習しておく。授業で勉強した話すを何回もして内容を覚える
第１１回	第11課　聞く・会話・読む	聞いたことをすぐに繰り返して発話することができる。読むでは日本語の文化を理解することができる	読むに出てくる語彙の意味調べをしっかりしておく。復習では何回もよ￥読んで内容をイメージする
第１２回	第11課　書く・練習問題	自分の国の伝説について800字の文章のフィードバックと説明が不足しているところを補うことができる	自分の国の伝説の文章で気づいたところを再チェックし清書する。練習問題はもう一度声を出して読み覚えること
第１３回	第12課　重要表現・話す・聞く	苦情に対する対処の表や現。事情の説明表現を復習し、さらに発展した方法や態度も修得することができる	自分のCDでCDを聞かずにも内容が口に出てくる練習をしておく
第１４回	第12課　聞く・会話・読む	自分の意見に反対意見を言われたとき、それに理由や根拠を説明して反論することができる	反対意見に対する反論を考える。復習は読むを３回以上読んで、内容をイメージ自分で内容のQAをする
第１５回	今期のまとめ　重要表現を中心に復習	１５回のまとめを重要表現を中心にする。これは試験対策のキーポイントである	しっかり復習して試験に臨み、結果が楽しみなるくらい勉強しておくこと